

# 復興に駆ける！

第 40 号  
平成 26 年 11 月 19 日発行  
岩手県立  
生涯学習推進センター  
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 前号に引き続き、今回は「復興協働セミナー」の【講演・トークセッション】の内容を詳しく紹介します。

## 【講演・トークセッション】「福島の今～故郷でで生きることから見えてきたこと～」・「連携・協働のススメ」

セミナーの最後に、講演・トークセッションを開催した。講演者は福島で活動しているコミュニティコーディネーターの鎌田千瑛美（かまだちえみ）さん、トークセッションの相手は、「NPO法人いわて連携復興センター」事務局長 葛巻徹（くずまきとおる）さんが務めた。



福島の様子を語る鎌田さん

鎌田さんは福島県南相馬市で生まれ、高校まで故郷で過ごした。その後、大学進学を機に上京し、卒業後 IT ベンチャー企業で働いていた。高校生のときは早く福島から出ることばかりを考え、故郷の大切さに気づけなかったという。震災後に故郷の大切さに初めて気がつき、企業を退職して福島に戻り、現在は福島県田村市を拠点に活動している。

活動を続けている中で、「つなぐ」、「対話」、「女子力」を大事にしている。コーディネーターとしては、特に「つなぐ」ことを丁寧に心がけているが、自立に向けた活動をしようとしている場合には、却ってつながないことも大切であると考えている。また、福島県から避難するかしないかについて、多様な考えがある中だからこそ、本音で語り合う「対話」を重視しているという。他にも「18歳以上ママ未満の女子たち」を対象に、福島から「共感の輪」を広げようと「peach heart」という団体を立ち上げ、「女子力」を活かした取組を行っていることなど、多方面にわたって話があった。



いわて連復 葛巻さん

講演後のトークセッションでは、「連携・協働のススメ」と題して、「協働を進めるために必要なこと」「協働は途中まで上手くいくことが多いが、継続させていくこととに難しさを感じること」な



トークセッションの様子

どが話題として出された。答えは一つではなく、やはり「対話」を大事にし、お互いどこで折り合いをつけるのかを意見交流しながら進めることが重要であると感じた。

行政職員と NPO 等が一堂に会したこのセミナーが、協働の一助となることを願いたい。

### 連絡先

○鎌田さんアドレス

Email : [chiemi.kamada@gmail.com](mailto:chiemi.kamada@gmail.com)

○NPO 法人いわて連携復興センター

TEL:0197-72-6200